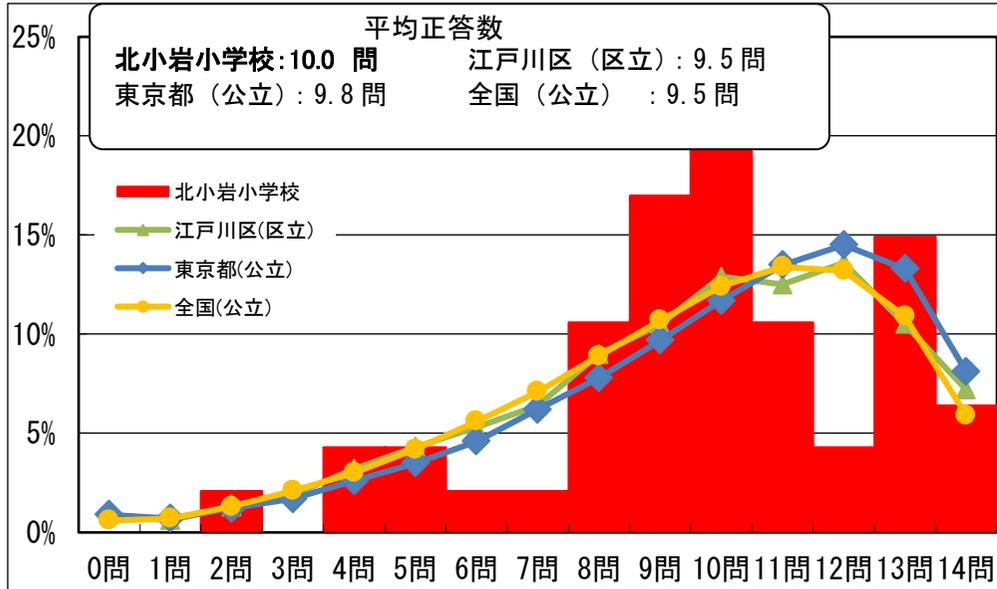


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】北小岩小学校

正答数分布



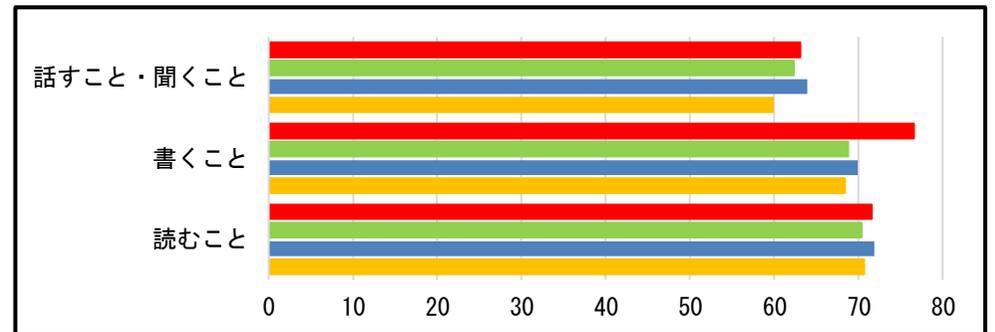
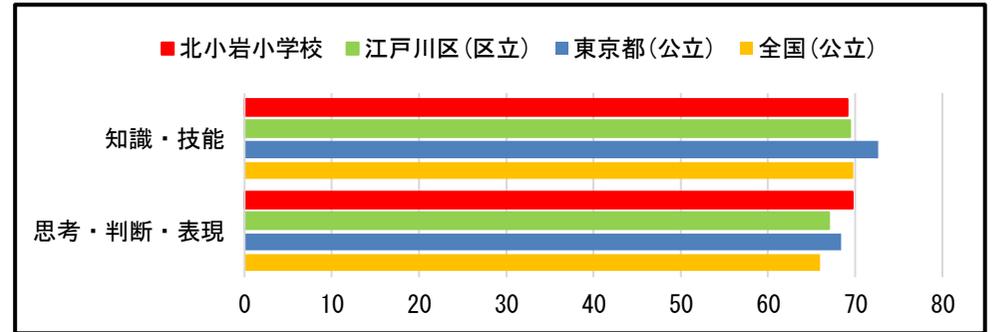
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
北小岩小学校	25.6	31.9	27.6	19.2
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

北小岩小学校	69%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	-1ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

A層の割合が、本校児童は都比較10ポイント、全国及び江戸川区比で5ポイント下回っている。その分、B・D層に集中しているため、学力向上策の重点ターゲットは中間層となる。領域別では漢字の読み書きや語句等の知識面、読解の面でも平均を下回っており、またヒアリング・スピーキングの面でも弱点であると読み取れるため日々の授業での学習場面を設定し、ICT 機器及び帯時間等を活用したドリル学習を継続していく。